



謹賀新年

旧年中は大変お世話になりました。
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり

新年明けましておめでとうございます。旧年中は「おでんくらぶ・なかのドリーム」にご理解、ご支援をいただき、改めて心より御礼申し上げます。

2007 年に中野で誕生した「おでんくらぶ」は、昨年夏に NPO 法人化しました。運営は始まったばかりで自転車操業ですが、昨年暮れには、手作り感満載のクリスマス会が開催されました。その折、名古屋市中で障害児支援施設を運営している方から、「おでんくらぶの成功は全国のお母さんの希望です」というメッセージをいただきました。それは、誕生したばかりの小さな私達の施設をとらえたカメラが上空に上って俯瞰し、遠くからも見届けていますよ、という連帯のエールのように思われました。

障害をもつ子ども達とその家族が、少しでも生活をエンジョイできる地域社会とは何でしょうか。社会活動をしている湯浅誠さんは、自身のブログで以下のように書いています。

— 兄は身体障害者で、小さい頃から車イスを利用していた。たまに自宅から 10 分ほどの兄の養護学校に、小学生の私が迎えに行かなければならないことがあった。兄は、車イスに乗っている自分の姿を他人に見られるのを嫌い、道を歩いてい

て、向こうから人が来ると、脇道にそれるよう指示を出した。兄にはもっと堂々としていて欲しかったので、そのことが不満だった。あるとき、兄がいつものように脇道にそれるよう指示したのに、それを無視したことがあった。歩いてきた大人は、案の定、車イスや足の装具、乗ってるのも押してるのも子どもという 2 人組をジロジロと見ながら通りすぎた。兄は恥ずかしさから下を向き、私も兄に逆らい、兄を「さらしている」気まずさから下を向いて、身を硬くしていた。あのときどうすべきだったか、当時はよくわからなかった。しかし今は、進むべきだったか曲がるべきだったか、人目を避けたがる兄を受け容れるべきだったか「説教」すべきだったか、そこに答えはないと感じている。答えは「仮に障害を持っていたとしても、兄が人目を避けずに生きていける世の中をつくること」だというのが、現在の考えだ。 — (公式サイトから一部改変)

保護者の育児介護負担の軽減の一助になるという原点に何度も立ち返りながら、笑顔の絶えない施設運営を継続できたらとスタッフ一同、考えています。今後ともご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

理事長 高田功二

ご寄附いただき 感謝申し上げます！

暖房器具などのご寄附をお願いしたところ、みなさまから多数の品や寄付金をいただきました。この場をかりて御礼申し上げます。

- ・ホットカーペット
- ・キルトマット
- ・加湿器つき空気洗浄機
- ・加湿器
- ・電気ストーブ
- ・温冷風暖房機
- ・テレビ
- ・防災備品
- ・自転車

また、クリスマス会開催のおりには、お菓子やプレゼントをいただき、ありがとうございました。こどもたちも大変喜んでおりました。



★お菓子やランチョンマット、お人形にクリスマスの飾りなどのプレゼントをしました。マットは額に入れるととっても素敵です。

事務局より

至らぬ点多々ございますが、今年も精いっぱい頑張っていますので応援、宜しくお願い致します！

佐藤浩子・東幸子・松長美紀
岡田美奈子・福満美穂子

クリスマス会報告

12月12日クリスマス会を、中野区医師会館にて開催いたしました。

当日は、放課後デイサービスの利用児童だけでなく、未就学児のお子さまや、きょうだい児も含め16人のお友達に来ていただきました。参加者は総勢56人。にぎやかに楽しく過ごしました。

こども教育宝仙大学の松原教授による車いすダンスにはじまり、おでんくらぶ職員による「おむすびころりん」の人形劇では子どもたちもおにぎりを転がしました。



職員と子どもたちみんなで合奏もしました。サンタクロースからプレゼントももらい、みんないい笑顔でした。



保護者から

アットホームなクリスマスでとても楽しかったです。特に「おむすびころりん」の劇は、職員さんの熱演と高いクオリティで素晴らしかったです。通所でも職員さんから温かく接していただき本当にありがたいです。今後とも宜しくお願い致します。

賛助会費・寄付のお願い

事業を開始して軌道に乗るまで、もう少しみなさまからのご支援ご援助をお願いいたしたく、来年度の賛助会員の募集をいたしております。

同封のお振込用紙にてゆうちょ銀行でお振込みいただくか、または以下の口座をお願いいたします。お名前、所属、ご連絡先を忘れずにご記入下さい。

《28年度賛助会費》

・1口1万円

①【ゆうちょ銀行から】

[口座記号・番号]

10010 20495091

②【他金融機関から】

ゆうちょ銀行

[支店] 008 (ゼロゼロハチ)

[種目] 普通

[口座番号] 2049509

新刊紹介



「重症児ガール ママとピョ
ンちゃんのきのうきょうあした」
ぶどう社

事務局員の福満が本を出しました。重症心身障害児と母親の日常を描いております。法人設立に至った経緯なども書いてありますのでどうぞご一読ください。

おでんくらぶ事業報告



*登録者数：17名（児童発達支援1名・放課後デイサービス16名）

【中野区12名 杉並区3名 渋谷区1名】

*月利用のべ人数と一日の平均利用人数、および利用率

8月	9月	10月	11月	12月
82人	62人	73人	59人	67人
3.15人	2.69人	2.80人	2.56人	3.05人
63%	54%	56%	51%	61%

季節の変わり目で体調を崩すお子さんも多く、11月の利用者は少なくなりましたが、12月は冬休みもあり人数が増えています。

重症心身障害児は急な入院も多く、体調管理しながら無理のないご利用をしていただいています。初年度でまだ利益率が低く、経営的には厳しい状態が続いておりますので、一日の平均を3.5人以上に引き上げ、70パーセントの利用率にすることが目標です。今年度中に登録者をあと5名増やしていきたいと思っております。ご紹介いただける方がいらっしゃいましたら、よろしく願いいたします。

保護者から

いつも大変お世話になっております。学校からも近く、中野区の南部に重心の施設ができ、たいへん助かっております。子どもが疲れることを心配し、いままで利用をためらっておりましたが、職員さんとゆったり過ごしてリラックスしている我が子を見て、通わせて良かったと思っています。看護師さんからもアドバイスなどいただき助かります。